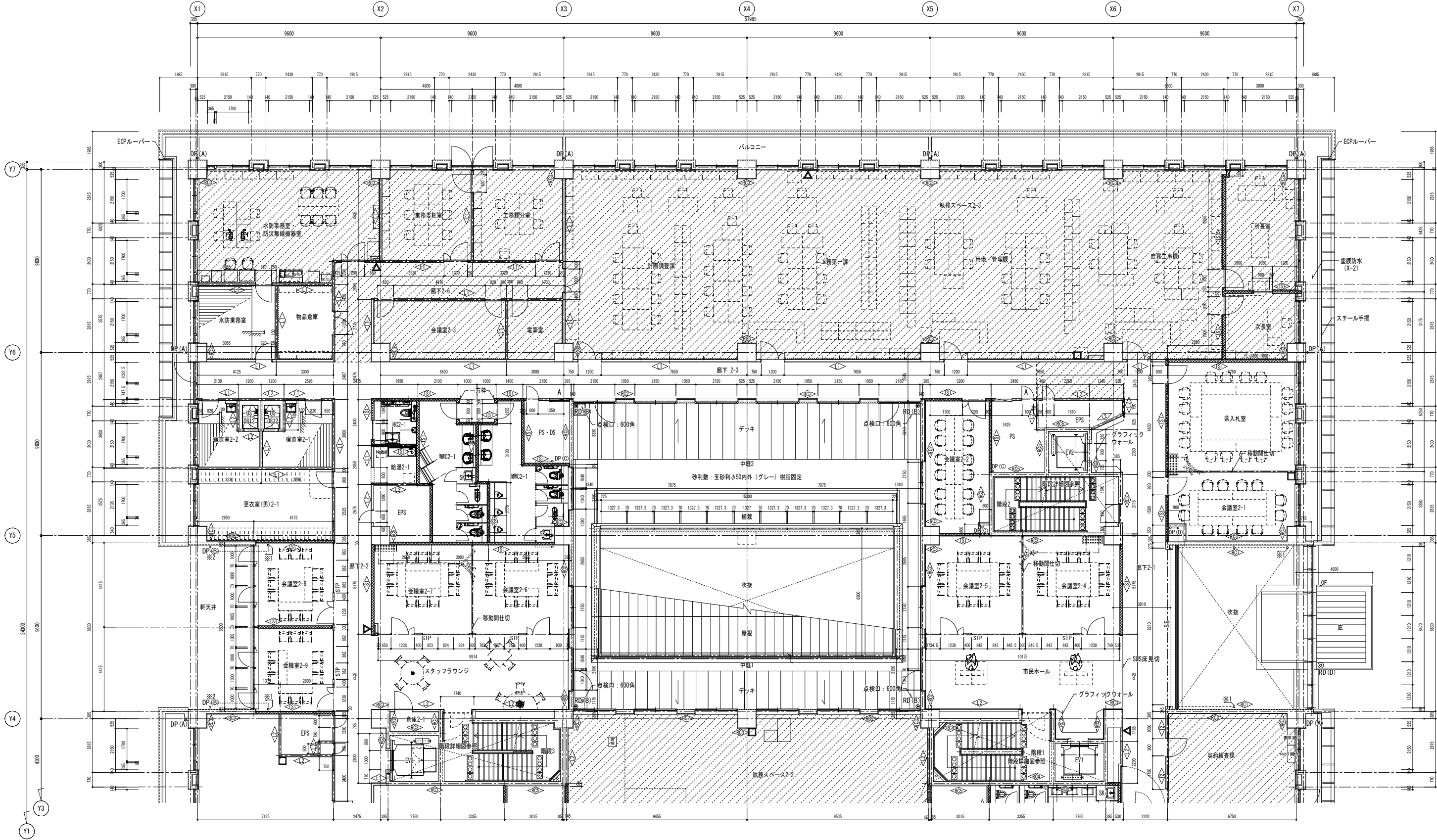


凡 例									
DP (A)	125φ アルミ樋 (アクリル焼付塗装) バンドレスタイプ (中継ドレイン)				屋内消火栓 W1050xD200 (消火器BOX付)		仕上裏スラブ面	仕上天：FLからの仕上レベルを示す、スラブ天：FLからのスラブレベルを示す ※ 特記なき仕上レベルはFL±0とし、スラブレベルはFL-20とする	
	100φ アルミ樋 (アクリル焼付塗装) バンドレスタイプ (中継ドレイン)				屋内消火栓 W 750xD200		化粧床下点検口	600×600	
DP (C)	125φ 銅管製堅樋 防露巻				分電盤 1FW800xD200、2・3FW600xD200		床下点検口 マンホール	600φ	
DP (D)	100φ 銅管製堅樋 防露巻				消火器BOX (埋込)		消火器BOX (置き)		
RD (A)	125φ 鋼鉄製	RD (B)	100φ 鋼鉄製	STP	スチールパーティション			OAフロアの範囲を示す	
RD (C)	75φ 鋼鉄製	RD (D)	125φ 鋼鉄製 (樋材同材)		視覚障害者用SUS製点字紙			ユニットフロアの範囲を示す	
—OF	オーバーフロー管				SUS細目グレーチング		床空調間仕切 (スタイロフォームt150)		
◇	SUS製丸環				タラップA		タラップB	額縁孔あけ加工 25x750 上下2ヶ所	

壁凡例	注記) ・スラブ下までのLGS壁下地は、1階W=100、2・3階W=90とする。		
	LGS一般壁 両面GB-R t 12.5+ t 9.5 (ボード天井まで、LGSスラブまで)		杉板化粧打放し
	LGS一般壁 片面GB-R t 12.5+ t 9.5 (ボード天井まで、LGSスラブまで)		阻工法 (断熱有)
			阻工法 (断熱なし)
	LGS耐火間仕切壁 片面GB-F t 21+21 (スラブまで) FP060NP-0007		RC下地の上被層塗材E
	LGS耐火間仕切壁 両面GB-F t 12.5+ t 12.5 (スラブまで) FP060NP-0289		RC素地
	LGS耐火遮音間仕切壁 両面GB-F t 12.5+ t 12.5 (LGSチドリ、GW充填、スラブまで) FP060NP-0175 TLD50		壁補強下地鋼板 t=1.2 W=200 特記なき場合 FL+1800天端 (五條市エリア) FL+1800芯 (奈良県エリア)



※2 3FテラスRD (C) から軒天井内で異径ソケット接続の上、DP (B) に接続

※1 3F RD (C) から銅管製堅樋防露巻φ75にて排水、異径エルボ接続の上、銅管製堅樋防露巻φ100にて横引きしDP (D) に接続